

「市立泉町・北島・小路・柳町保育園の 廃止条例案」についての陳情書

2008年6月6日

門真市議会

日本共産党 御中

要請団体 門真市の保育・学童保育の充実を求める連絡会
(略称:保育・学童・幼稚園をよくする会)
代表 戸田 伸夫 (門真市小路町19番6号)

私たちの会は保育園や幼稚園、学童保育など子育て支援施策の充実を求めて活動しています。平素は私たちの要望等に御尽力いただき、ありがとうございます。

2007年7月、門真市が「2009年に公立保育園の四園を廃止・民営化する」ことを発表したあと、多くの保護者や市民から不安の声が出されました。

- ・「4園同時の民営化」は大阪府では初めてのやり方であり、あまりにも一方的過ぎる。
- ・北島保育園が民営化されると、南西部に公立保育園がなくなり、地域住民の影響が大きい。
- ・「4園同時の民営化」により、現在働いている126名の非正規職員の仕事を一方的に奪うことは許されない。
- ・「公立保育所の民営化」は保育の継続性が損なわれ、幼い子どもたちの心に大きな傷を残すことになる。横浜や大東の保育所民営化裁判では、保護者に損害賠償を命ずる判決が出ており、子どもたちに被害が出ないよう慎重な対応が求められる。

等々です。

私たちは「保護者や地域住民に理解が得られるまで、保育園の民営化はしないで」と、昨年の秋から「保育・子育て支援施策の充実を求める請願署名」を取り組み、34,064名が集まり、12月の市議会に提出しました。

また、今年取り組んだ市長あての「市立泉町・北島・小路・柳町保育園の廃止・民営化条例案を市議会に提案しないことを求める要望署名」は8,388名が集まり、市長に提出しました。

門真市は、こうした市民の強い要望にもかかわらず、保護者や地域住民に理解が得られる努力をすどころか、たった3回の説明会で一方的に話し合いを終了する、これから保育園を利用する地域住民への説明会を行わない、市長との懇談を何回も要望するが一度も応えない、さらには、選定委員会を開催し、民営化の合意を得ないまま移管先法人を選定しました。

このように、門真市は利用者である保護者や地域住民に対して説明責任を果たさず、強引に民営化計画を進めるなど、市民無視のやり方を繰り返してきました。

他市では民営化により、子どもたちに大きな影響を及ぼしています。4園同時の性急な民営化ではなく、「計画」を見直し、慎重な対応が必要ではないでしょうか。

私たちは、保護者や地域住民の理解と納得をぬきに、「市立泉町・北島・小路・柳町保育園の廃止条例案」を、今市議会でも強行採決しないよう強く求めます。

貴会派におかれまして、これまで何回も陳情致しましたが、私たちの「要望」に対して、ご理解とご尽力いただきますようあらためて陳情致します。